

財務諸表に対する注記（法人全体）

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の消化基準及び評価方法
 ・満額保有目的の債券等-償却原価法（定額法）
 ・上記以外の有価証券で時価のあるもの-該当なし
 (2) 固定資産の減価償却の方法
 ・建物並びに器具及び備品-定額法

3. 重要な会計方針の変更
該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度
該当なし

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下の通りとなっている。

- (1) 法人全体の計算書類（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
 (2) 事業区分別内訳表（第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式）
 (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
 (4) 公益事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
 (5) 収益事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
 当法人では、各事業とも拠点が一つなので作成していない。
 (6) 拠点区分ごとの計算書類（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）
 (7) 拠点区分別計算書類（別紙3）

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	9,724,451	0	0	9,724,451
建物	35,826,144	0	4,449,460	31,376,684
建物附属設備	489,933	2,319,502	87,688	2,721,747
合計	46,040,528	2,319,502	4,537,148	43,822,882

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	38,000,000円
計	38,000,000円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

なし	円
計	

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	38,380,711	7,004,027	31,376,684
建物付属設備	3,459,320	737,573	2,721,747
小計	41,840,031	7,741,600	34,098,431
その他の固定資産			
車輛運搬具	1,073,010	1,073,009	1
器具及び備品	2,761,253	2,169,862	591,391
出資金	10,000	0	10,000
運用財産積立資金	600,000	0	600,000
修繕積立金	120,326	0	120,326
小計	4,564,589	3,242,871	1,321,718
合計	46,404,620	10,984,471	35,420,149

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	3,356,137	0	3,356,137
未収金	162,041	0	162,041
立替金	200	0	200
前払費用	29,813	0	29,813
合計	3,548,191	0	3,548,191

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の 兼務等	事実上の 関係				
該当なし											

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし